

総務大臣殿

平成19年4月 日

鹿児島県奄美市名瀬金久町4番3号
特定非営利活動法人ディ

理事長 麓 憲吾 印

放送番組審議会議事録の提出について

標記について、放送法施行令第5条第3項の規定により下記の書類を提出します。

記

放送番組審議会議事録（第1回 平成19年3月16日開催） 2部

以上

放送番組審議会議事録

- 1 開催年月日 平成19年3月16日(金) 20:00～22:00
- 2 開催場所 奄美市名瀬金久町4番3号 特定非営利活動法人ディ会議室
- 3 出席委員 委員総数 9名
出席委員数 5名
出席委員の氏名 大久保 惣市／越間 誠／高良 俊礼／中村 瑞希／西平 功
欠席委員の氏名 重信 千代乃／肥後 幸介／望月 信悟／山田 通央
放送事業者側の出席者 理事(麓 憲吾／椋山 廣市／西條 和久)
事務局(丸田 泰史／水間 由里子／蘇 嘉瑞人)

4 議題

出席者紹介、議長選出
NPO 法人ディ!の活動目的について
あまみエフエム放送番組審議会とは
あまみエフエム放送番組審議会規定の承認
委員長／副委員長選出
放送番組基準及び放送番組の編集に関する基本計画について
番組編成案について

5 議事の概要

放送局より出席者の紹介があり、西平功氏を議長として選出した。
理事より、NPO 法人ディ!及びあまみエフエム設立の目的、基本方針についての説明を行った。
事務局より、放送法第3条の4及び第51条2によるあまみエフエム放送番組審議会設置であること、また、放送局は放送番組審議会の意見を尊重する義務があることの説明を行った。
事務局より、あまみエフエム放送番組審議会規定の説明を行い、全会一致で承認された。
放送番組審議会規定に基づき、委員長に西平功氏を選任し、委員長は放送局からの委属を受けた。副委員長選出は西平氏に一任することで承認された。

※本会終了後の平成19年3月26日、西平氏は重信氏を指名し、重信氏はこれを承諾した。

同日、重信氏は副委員長として放送局からの委属を受けた。

委員長を議長とし、議長の求めにより放送番組基準及び放送番組の編集に関する基本計画について事務局から説明を行った。質疑応答ののち、全会一致で承認された。

議長の求めにより番組編成案について事務局より説明を行った。質疑応答や意見交換ののち、全会一致で承認された。

6 審議内容

(1) 委員長／副委員長の選出

選出に際して、高良委員より番組審議委員全員に「番組審議委員としてこの奄美初のコミュニティFMに対してどういう思いがあるか、奄美の文化に関してどういう思いがあるか」を諮問。各人意見を述べた。

西平委員

手づくり、エリアが狭くて完全なローカルというメディアがあればいいかと常々思っていたものですから、ちょうど面白いものができたなど、いろんな可能性を考えて非常に期待しています。協力したいと思っています。

大久保委員

名簿でオーエムビーとアーケード商店街振興組合理事長ということになっていますけど昨年5月の総会で理事長は降りておりますのでちょっとまた立場は違うんですけど、ただ商店街とか地域に従事する、基盤を置いている者として、何か自分たちの力でシマツチュ（島の人）のためのものをやっていきたいというのを粹に感じた。それぞれの立場とか役職とか職業が違えけれど、私も何かこの地に商業という立場で携わっている以上は、また何か違った面で皆様にお役に立てればということで、メンバーに加えていただきました。

越間委員

僕は西條君から突然、審議委員にと言われました。麓さんに色々お世話になったし関わりも持っているので、何かの形でお手伝いできればいいかな、という気持ちで参加した次第です。

テレビでは民放もNHKもすべて入っていますが、ラジオについては民放は少し弱いということで、奄美から奄美の情報を発信する、それぞれが共有するっていうメディアがあるというのは素晴らしいことなので、ぜひ立派に育て上げていただきたいなと思います。

ただ、こんな若い新しいものに光をあてるものについてはあまり既成観念とか、これまでのシステムに凝り固まらずに、若い力で思い切ったことにチャレンジして行ってほしいと思っています。

高良委員

奄美大島、非常に昔から物心ついた時から思っているのですが、非常に文化レベルの高い島です。住んでる人達の感性は素晴らしいものがあり、ディの麓憲吾さんや島唄の中村瑞希さんのお二人、それから中孝介君や元ちとせさんなど、メジャーデビューするような立派なアーティストの方々もいっぱいいらっしゃって、芸術分野で活躍している人が非常に多い島だと思います。

ただ、音楽関係の現場にいて、すごく危険に危惧を感じているのが、奄美の、特に若い人達の音楽に対する興味で、自分たちで新しいものを探していこう、自分たちで新しいものを生み出していこう、そういう意欲が非常にここ数年低下しているような気がします。な

ので今回このあまみエフエムという地域に密着して地域の人達がオリジナルなものを発信するっていう、この志とというか心意気というか、自分たちで大変な思いをしてせっかく立ち上がったラジオ放送ですから、これを島の人たちに、麓さんの考えとしては若い人も奄美のことをよく知ってもらおう、肝心の島の人たちが島のことに詳しくなってもらおう、ということで、そこは多いに共感できるんですけども、私の考えとしましては、外からのものも大いに取り入れて、自分たちのもとからある文化はより考えを深めて、それら2つでも3つでも4つでも5つでも、いろんな文化を比較対照してこれからの奄美の本当のオリジナルな文化を作っていく様な礎にこの放送がなればいいなと思っています。番組審議委員というのは番組にたいして口うるさいものだと私は認識しておりますので、意見もこれから忌憚なく言って、もしかしたら皆様に煙たがられるかもしれませんが、これはもう将来の、多分50年後100年後の奄美のためと思っておりますので私なりに真剣に考えさせていただきたいと思います。よろしくお願いします。

中村委員

審議委員に参加するっていう話をもらったときに、自分で大丈夫かなというのが正直な気持ちで、やっぱり支えていくためにはそれなりに色んなものを見て色んなものを考えなきゃいけないな、と自分で思っています。ただ、こういうFMを立ち上げる過程を自分が見れたり、知れたりすることとか、そういうものを見ることで、自分のまわりにいる子供たち、私たち島唄クラブに所属してるんですけど、その子供たちに、こういうすごいことが奄美でもできるっていうのを教えてあげられる、そういう繋がるものになればいいかなと思っています。何が出来るかわかりませんが、島を盛り上げていける力になればいいなと思っています。よろしくお願いします。

(2) 番組編成案に関する質疑応答及び意見交換

高良委員

音楽編集番組が今一番太い枠で、時間もたっぷりあって充実した内容になるんじゃないかと思う。制作はあまみエフエムのスタジオでやって、バンド演奏や地元出身のアーティストの紹介等を軸にしていくのですか。

麓理事長

どちらかというと普段FMから聴こえてこない地元アーティストが制作したものとか地元出身のアーティスト、島にゆかりのあるアーティストの音源が元ではあるんですが、ジャンルをミックスして行って流したいと思っています。これにおいてはパーソナリティはついていません。曲が3曲ほど流れると、曲の宣伝、番組の宣伝、CM等々がミックスされたものが流れるという、今の時点ではそういったものになっています。

高良委員

他社供給枠は、テレビが深夜に終わった後、天気予報が流れているみたいな感覚ですよ。

なにか不測の事態が起こった時、例えば地震ですとか、ぱってチャンネル切り換えられるような。

麓理事長

そうですね。第一興商さんがコミュニティ FM の放送供給をしています。ラジオ編集用に 58 分になるとブレイクがありまして、そこにうちの CM だとかそういったものが挟めるような編集になっているんです。それで、100 チャンネルある供給番組の中に 1 チャンネル、コミュニティ放送用にパーソナリティがしゃべる番組もいくつかあり、また音楽のみの番組もあります。

放送を供給して下さる他社が 3 社存在してますが、チャンネルが豊富であるというところで第一興商さんをセレクトしたという経緯です。

高良委員

子供たちのための、物語を朗読する番組等があればすごく楽しいんじゃないかなって思うんですよ。子供たちの教育にとってすごく大事な、本を読むこと、読み聞かせをすることってというのが今非常に注目されていて、子供たちの想像力を刺激する、またラジオを大人が聴いててもすごく想像力を刺激されるいい媒体だと思います。本を朗読したりとか、小説を読んだり、短編を読んだり、そういうことは著作権的に可能でしょうか。

麓理事長

音楽に関してはおおむね、日本著作権協会のほうに著作権料を納めることにはなりますが、あと 2 社、書籍等を含めた他の著作権管理業者があるようですので、ぜひお支払いして朗読も行いたいと思います。パーソナリティさんからも民話等の読みものをやりたいという提案があり、朝や夕方のタイミングで実施したい。開局に出来るだけ間に合わせて、やるようにします。

越間委員

第一興商のチャンネルの選択について。

年齢によるけれども、若い時はけっこう、夜中でも非常に元気のある民放を聴いていた。ところがある程度の年齢になってくると、どうしても静かなのが聴きたいと思う。とろとろっと寝ているから、学生と成人とのうまい狭間で心地よく耳に響いてくるような、そういうのがすごくいい。そういう中で、静かにいろんな情報を伝えていく、そういう組み方も考えていくといいのでは。

さっきの読み聞かせの話で子供たちといったけれども、病院なんかでも、島の本を読ませて聴かせるとかね。

麓理事長

病院の先生からも、入院されてる方々が有線を聴いているけれど、地元の放送を入院患者も聴けるようなものがあるといいですねという提案をいただきました。

越間委員

奄美が立ち上げるからには、全部が元気をもらえるような勢いつけるような、そういった

応援歌でもあってほしいと同時に、また島の癒しになるような、両方をうまくバランスを取ってほしい。

麓理事長

子供から大人まで、若者はもちろん、時間分けをしながら組んでいければと、僕たちも編成していて思っています。

大久保委員

越間さんがおっしゃったみたいに、今、共稼ぎで皆さんもうバタバタバタバタして、ちょっとほっとした11時から深夜にかけての時間帯に枠が少しでもあればいいと思う。例えば学生もかなり深夜まで受験勉強をされて、そういう時に癒しだったりとか、励ましだったりとか、ほっとして次の活力になるような語りかけや自然の音などを流す、そういう番組があればいいなという。

中村委員

島出身の、島以外の場所で音楽活動をやってる人たちの演奏を流すことはできるんですか。

麓理事長

はい。島外の他のコミュニティさんのところをお伺いして勉強しているときに、その土地土地の、奄美出身者のかたと会いましたが、やっぱり内地でがんばっているよ、というのは多分メッセージとして伝えたいと思います。そういったものを汲み取ってやっていきたいと思っています。

中村委員

ビデオレターみたいな感じで、内地の、たとえば笠利町のOBで、こんなのやってるから頑張ってるねとか、こういうふうやってるよ、とか、何かキャッチボールみたいなのもできたら聴く方も楽しい。

越間委員

コミュニティFMとしてのバーター、こっちからあげて、あっちからも貰うという形で。

麓理事長

そうですね。

西條理事

例えば全国同窓会など、いろんな集まりに呼びかけができるようなコーナーがあったほうがいい。

越間委員

周波数は1つしかないということだけど、重複してアンテナだけ建てるわけにはいかないか。

椋山副理事長

同じ周波数で出すと、電波の重なる場所が打ち消し合ってしまう。まったく使えないのではなくて、住用あたりは同じ周波数で重ならないから出せるんじゃないかと技術的には見えています。

- 7 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日 なし

- 8 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日
 - (ロ) 自社放送：開局日に特別番組内で放送
 - (ハ) 書面の備置き：平成19年4月3日（火曜日）から、当該事項を記載した書面（議事録）を当法人事務局へ備置き、聴取者の閲覧希望に対応
 - (ニ) インターネット：平成19年4月3日（火曜日）より当法人インターネットのホームページに転載

- 9 その他の参考事項 なし